

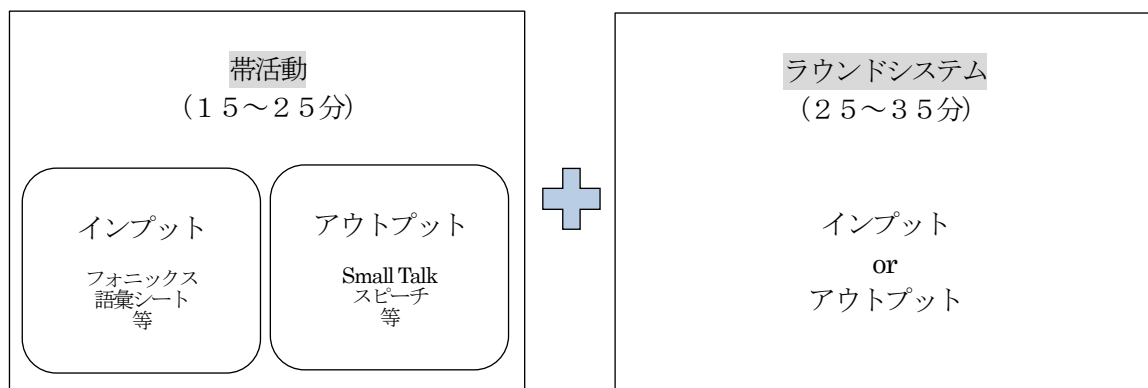
第 1 学年外国語科学習指導案 単元名 Round 1 Unit 6 Cheer up, Tina	日 時 令和7年 9月18日 (木) 第6校時 学 年 第1学年 4名 (女子4名) 指導者 井上 知三
--	--

1 ラウンドシステムについて

本校では、最初の単元から最後の単元までを通して1年間に5回扱う5ラウンドシステムを実施してきた。ラウンドシステムは、単元ごと、学期ごと、学年ごとで区切るのではなく、教科書を1年間のスパンで、中学校学習指導要領外国語編(平成29年)「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やりとり)」「話すこと(発表)」「書くこと」それぞれの目標とする英語の力を3年間をかけて身につけさせる。このラウンドシステムにより、中学校修了時「自分自身のこと、自分の考えや思いを、相手に理解してもらえるように、工夫しながら伝え合うことができる」生徒の育成を目指す。今年度は、1学期にUnit1～Unit3を、2学期にUnit4～Unit6を、3学期にUnit7, Unit8と短いスパンで5ラウンドを行う。

Round	内 容	実施時期
Round 1	リスニングによる内容理解(ピクチャー並べ替え) 毎時間本文を10回程度聞く。	4月～7月 Unit1～Unit3 8月～12月 Unit4～Unit6 1月～3月 Unit7, Unit8
Round 2	内容理解した本文での音・文字の一致(英文並べ替え) 毎時間本文を10回程度聞く。	
Round 3	音読(音声完全コピー) 毎時間本文を10回程度音読する。	
Round 4	穴あき音読(A動詞抜き Bフレーズ並べ替え Cフレーズ抜き D文頭のみ) 内容を考えながら声に出す。文構造に気づかせる。	
Round 5	リテリング(自分のことばでストーリーを伝える) ペアやグループで行い、友だちの表現から学び自分の表現を高める。	

1時間の授業は、帯活動とラウンドシステムの2つで構成する。帯活動では、フォニックスや語彙などのインプット活動、Small Talk やスピーチなどの、既習の表現を活用して行うアウトプット活動を行う。



2 本ラウンド (Round 1) について

(1)目標

本ラウンドでは、教科書本文のストーリーのおおまかな内容を理解させることががねらいである。教科書本文の音声を聞き、ピクチャーカードの並べ替えなどの活動を通して、ストーリーの概要や登場人物の特徴などをとらえさせる。

(2)生徒観

7月に行ったアンケートでは、「英語の勉強は好きです。」「英語の授業以外で英語を使ってみたいと思います。」「ALTの先生に英語で話しかけられたら、英語で答えようとしています。」にほとんどの生徒が肯定的に答えている。実際に、教師と廊下で出会ったときには自然に英語であいさつしたり会話したりする。しかし「英語の授業はよく分かります。」には肯定的に答えている生徒は半数である。

授業においては、帯活動、ラウンド活動ともに意欲的に取り組んでいる。既習事項の復習では、積極的に次々と質問してくる様子も見られる。1学期のRound1では、なりきりリスニング、なりきりスピーキングで、特徴的な音声表現を楽しみながら、登場人物のセリフを集中して聞き、音声を真似して声に出したりしていた。

令和6年度三次市学力到達度検査で、正答率の低かった「並べかえ」と「スピーチ読解」の類似問題を1学期期末試験に取り入れた。それぞれの平均正答率は、65%、90%であった。また期末試験全体の平均は83.3点であった。

(3)指導観

【帯活動】

教科書のLet's Be Friends!を使って、アルファベットや日常的に使える表現等の復習を行う。音と文字の一致を図るためのフォニックス指導では、リズムに合わせて楽しく慣れさせる。語彙指導では、25の語についてイラスト・文字を表裏に印刷したシートを持たせ、イラストを見て発音させる。できるだけ日本語訳を介さずに語の持つイメージをインプットさせたい。Small Talkでは、1文で答えて終わりではなく、2文で答える、相づち、聞き返す、など会話を続けたり深めたりする方法を指導しながら、英語を使ってお互いのことをよりよく知り合えて楽しいという印象を持たせたい。

【ラウンド】

①扉の絵から本文の話題を予想する。②本文を聞き、おおまかな内容をつかむ。③本文を聞き、ピクチャーカードを並べ替える。④登場人物の1人を選び、その人物のセリフを聞き取る。⑤登場人物の1人を選び、その人物になったつもりでセリフを言う。のステップで行う。ストーリーを10回程度通して聞くことを目安として進める。できるだけ回数多く聞かせたいので、1人でも「もう1回聞きたい。」と言えば繰り返し、本文のおおまかな内容を理解させたい。

3 本時の展開

(1) 本時の目標

(帯活動) 相手の質問に2文で答えることができる。[思考・判断・表現]

(ラウンド) 教科書本文のストーリーのおおまかな内容を理解することができる。[知識・技能]

(2) 準備物

電子黒板, デジタル教科書, ワークシート

(3) 学習の展開

時間	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準[観 点] (評価方法)
10	1 あいさつをする。 2 Let's Be Friends!等を使用し, 語彙や表現の復習をする。 3 Small Talk	◇テンポよく進める。 ◇教師が数名の生徒と対話し, 内容のイメージを持たせる。 ◆使えそうな語彙をいくつか示す。 ◇会話を続けるために, 2文で答える, 相づちを打つ, 相手に質問することを意識させる。 ◇1分間の会話を行った後, 難しかったところをシェアする。どのように言えば良いか全体で考える。 ◇ペアを変えてもう一度会話させる。	○相手の質問に2文で答えることができる。 【思考・判断・表現】 (行動観察)
15	4 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【めあて】 本文のおおまかな内容を理解することができる。 </div> 5 扉の絵から本文の話題を予想する。	◇10回程度聞くうちに, 本文のおおまかな内容を理解することができれば良いことを伝える。 ◇扉の絵を見ながら, T⇄Ss のインタラクションを通してストーリーを予想させる。	

	6	本文を聞き、おおまかな内容をつかむ。	◇本文を聞き、ストーリーの流れを予想させる。	
25	7	絵の並べ替えをする。音声を聞き、聞こえた順番にワークシートに数字を書き入れる。	◇語の発音を質問してきた生徒には、文字を示しながら聞かせる。 ◆机上进行整理させ、ワークシートに取り組ませる。	○ストーリーを10回程度聞いて、絵を並べ替えることができる。【知識・技能】
	8	ペア・全体で確認をする。	◇絵をしっかりと見ながら、音声を聞くようにさせる。 ◇途中でついていけなくなる生徒もいると思われるが、10回程度繰り返し聞かせるうちにワークシートを完成させていく。全て数字を書き入れられた生徒も、本文のおおまかな内容を考えながら聞くように伝える。	
45	9	本時の振り返りをする。	◇ペアでお互いの順番をシェアし、その後全体で確認する。	
50	10	あいさつをする。	◇聞き方の工夫や、コツなどを発見した生徒がいれば、シェアさせる。	

(4) 板書計画

Thursday, September 25th, sunny, 2:25

授業の流れ

Review

Small Talk

Round 1
Unit 6

ピクチャーカード
並べ替え

CAN-DO

本文のおおまかな内容を理解することができる。

生徒からの質問等を受けての板書

タイマー